

戦争の記憶

『次世代継承』パネル展

戦後79年 が経過する中で、戦争体験を直接語れる人が減少し、戦争の記憶の風化が懸念されています。戦時下の様子を伝える **白黒写真をAI技術でカラー化** し、展示することで当時の空気感を共有していただけるよう今年もパネル展を開催します。

この機会に、戦時下での様子を見て、感じて、今ある平和の尊さについて考えてみませんか。

令和6年

10/16(水)～22(火)

(19日、20日を除く)

9:00～17:00

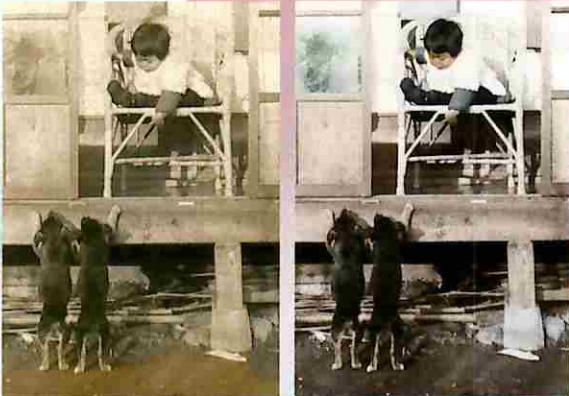
※最終日22日は13時終了

高崎市役所 中2階ロビー

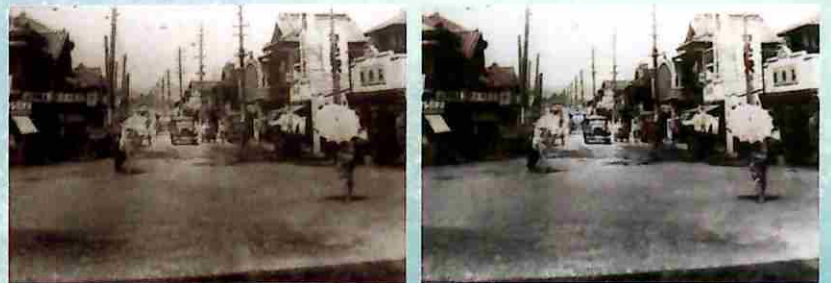
(高崎市高松町35-1)



「戦時下の堤ヶ岡飛行場」(白黒・カラー写真)



「昭和12年緑側のある家」(左：元写真、右：復元したカラー写真)



「昭和初期の高崎駅前」(左：元写真、右：復元したカラー写真)
写真は群馬県遺族の会高崎支部提供

●入場無料

日中戦争(1937年)からサンフランシスコ平和条約(1951年)頃までの写真などを展示します。

主催：一般財団法人群馬県遺族の会 共催：群馬県

戦争の記憶『次世代継承』パネル展



小川大尉

○その他展示内容

『56年後に戻ってきた 神風特攻隊員の遺品』

碓氷郡八幡村（現在の高崎市）生まれの「小川 清海軍大尉」は、1945年5月11日に特攻隊員として、沖縄沖を航行中の米空母「バンカーヒル」に戦闘機（零戦）で突入し絶命しました。22歳でした。

その空母は大破し炎上しましたが、小川大尉の乗った機体は火災に巻き込まれることなく、小川大尉が胸に着用していた航空兵用の懐中時計や手紙、写真などが発見されました。

これらの遺品はバンカーヒルの乗組員によってアメリカに渡り、長い歳月を経て2001年に遺族の元へ戻ってきました。

○紙芝居『戻ってきた時計』（高崎支部作成）

『戦争の記憶』アーカイブ映像視聴コーナーあり



戻ってきた遺品

会場アクセス



高崎市役所 中2階ロビー

高崎市高松町35-1

公共交通機関をご利用の場合

- JR高崎駅西口より徒歩約10分
- 市内循環バスぐるりの場合
JR高崎駅西口より都心循環線（乗り場9番）で「市役所」下車

お車の場合

- 国道17号線和田橋交差点を市役所方面に曲がり約450m
- ※駐車場は城址第二地下駐車場（市役所地下）をご利用ください。（会場受付で認証印を受けてください。1時間まで無料になります。）

お問い合わせ

一般財団法人 群馬県遺族の会
群馬県健康福祉部福祉局地域福祉課

TEL 027-255-6147

TEL 027-226-2678